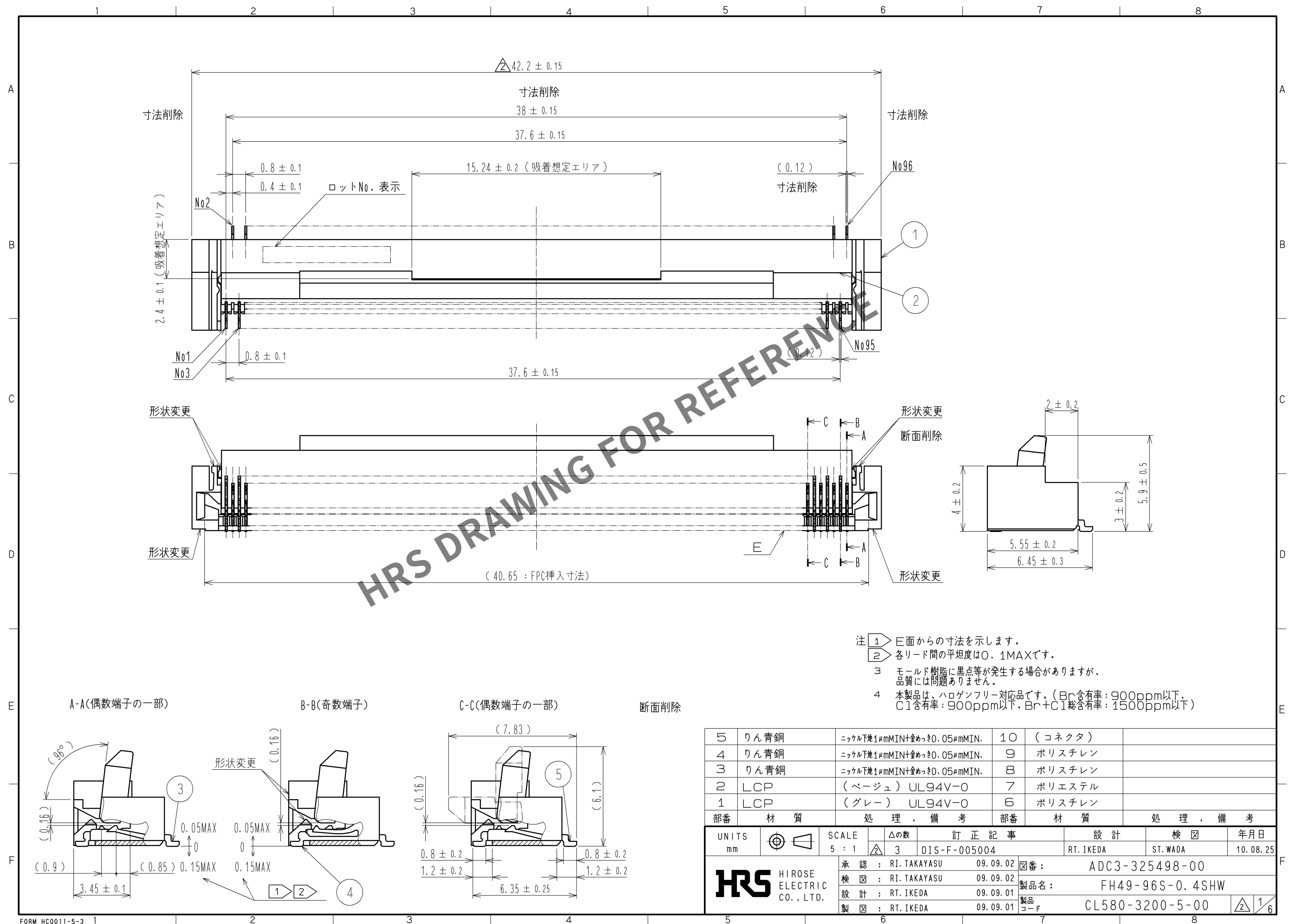
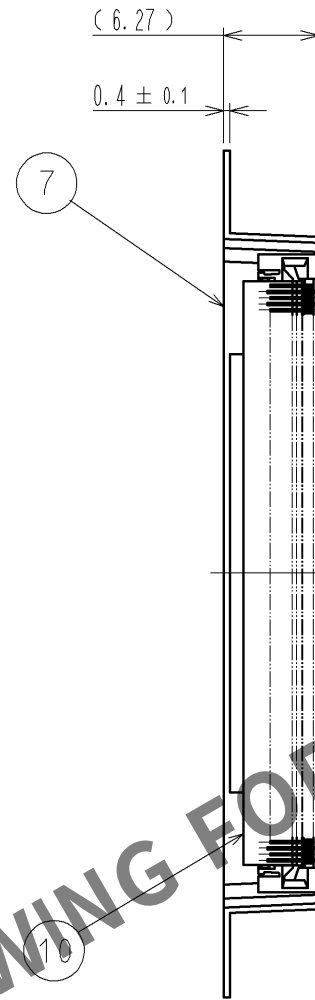
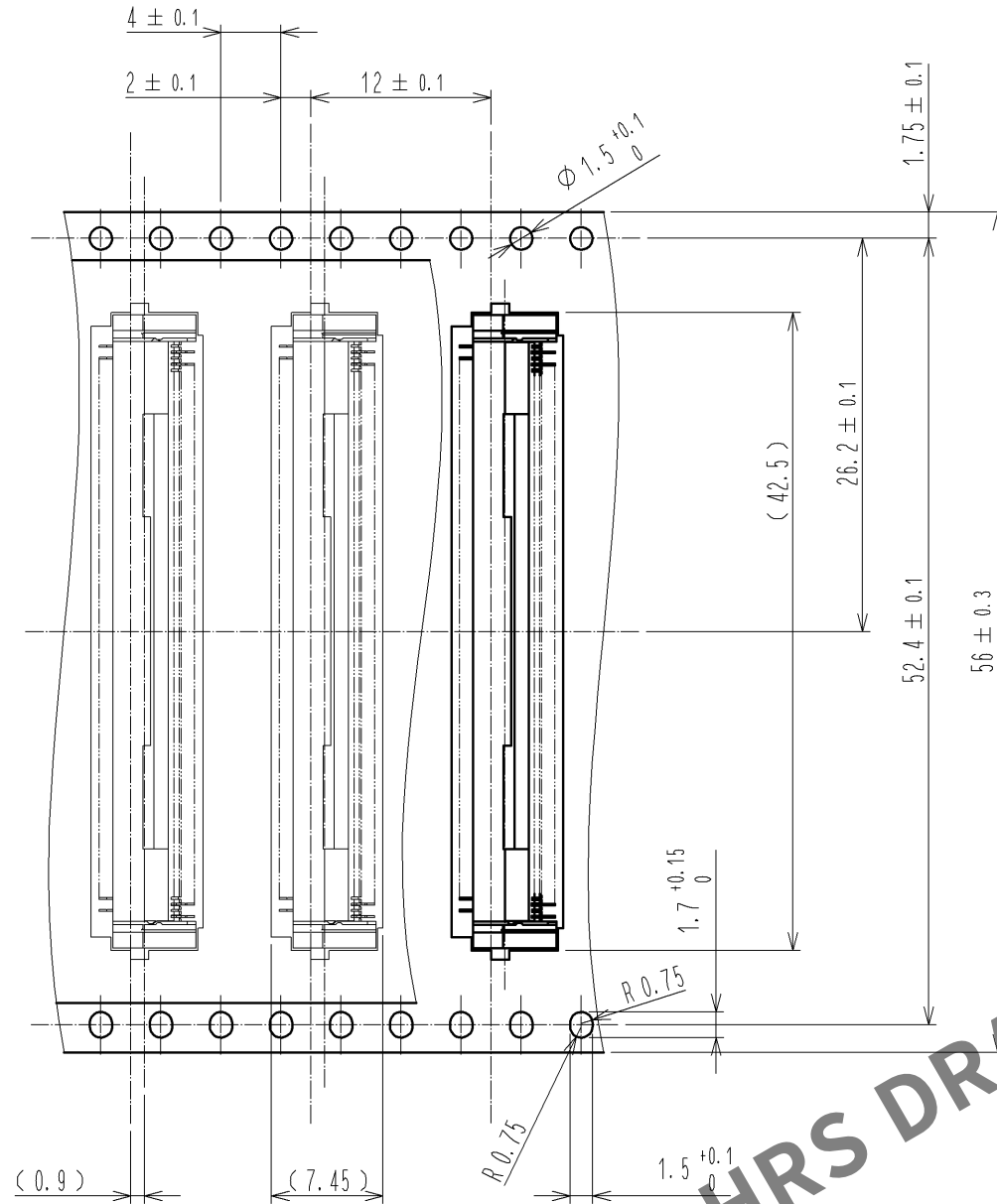




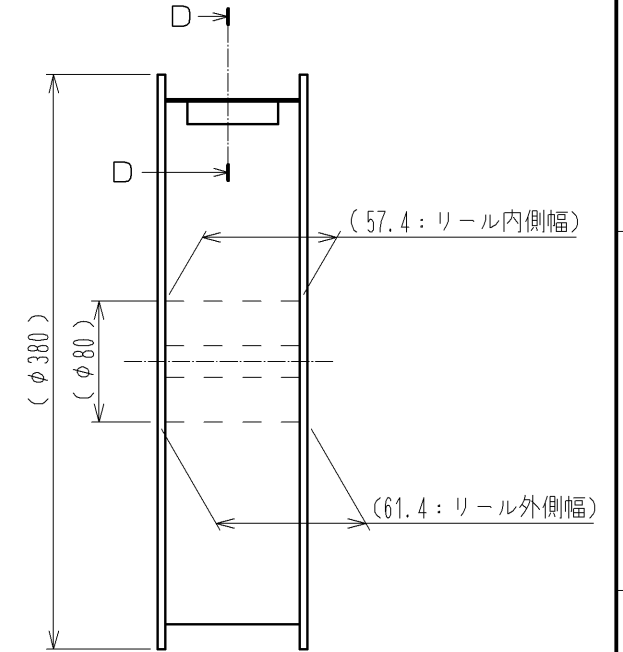
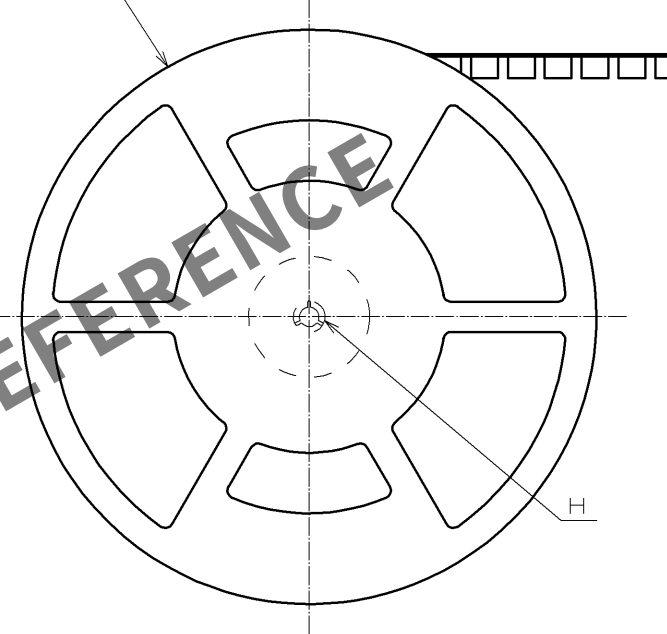


May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

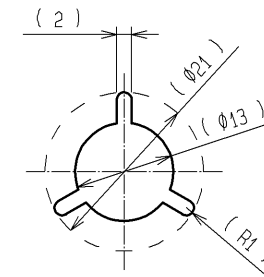
エンボスキャリアテープ寸法図(2:1)



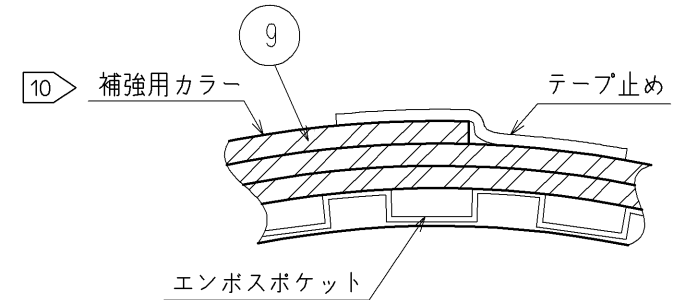
リール状態寸法図(FREE)



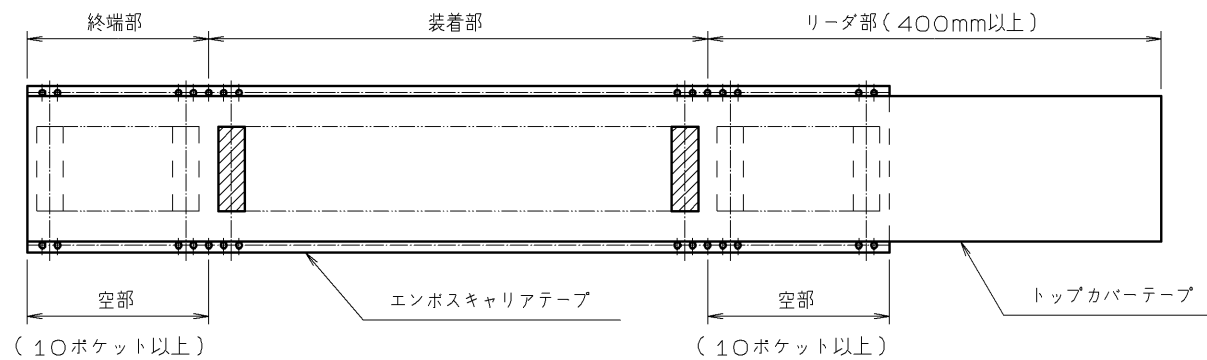
H(1:1)



D-D(FREE)



- 注 8 1リール1000個梱包です。
9 本梱包は、JIS C 0806(自動実装用部品のパッケージ)に準拠しています。
10 梱包完了後、エンボスポケット外周に長さ2mの補強用カラーを巻き、外周終端部はテープ止めます。



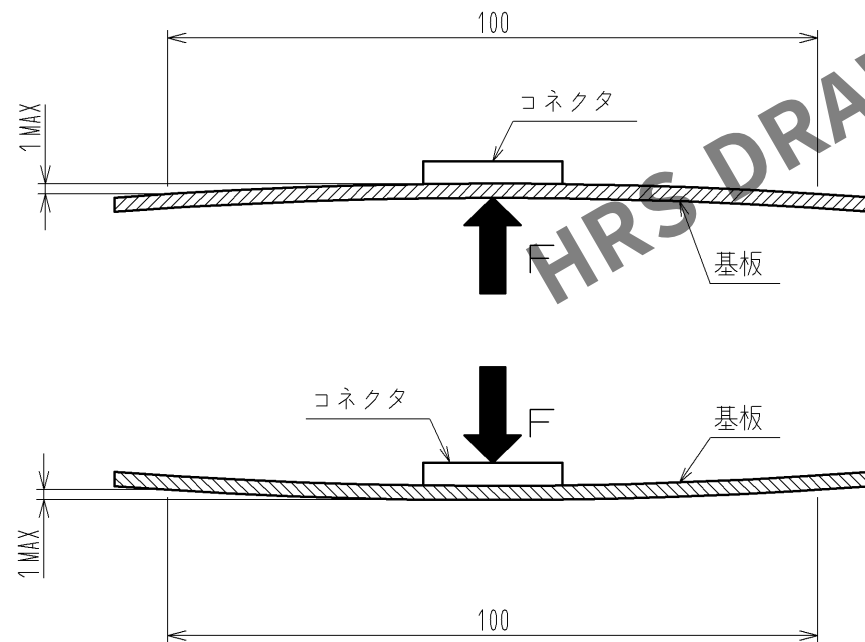
梱包仕様図

HRS	図番:	ADC3-325498-00
	製品名:	FH49-96S-0.4SHW
	製品コード	CL580-3200-5-00

本コネクタは、取り扱いについて注意が必要です。以下の内容をご確認の上ご使用ください。
なお、注意書きに記載されている各値は、製品の規格値とは異なります。

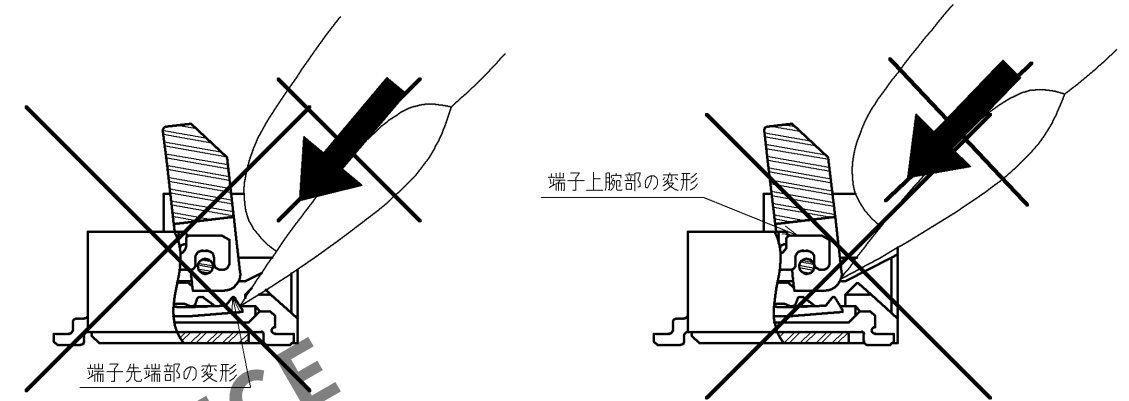
【基板実装時のご注意】

- ◆基板の反り量について
基板の反り量は極力抑えるようにしてください。
本コネクタの平坦度は0.1mm以下ですが、
反り量が大きいとはんだ付け不良となることがあります。
- ◆コネクタへの負荷について
実装前に、コネクタに1N以上の外力を加えないでください。
コネクタが破損する可能性があります。
また、実装前にFPCを挿入したり、コネクタの操作をしないでください。
- ◆基板への負荷について
・多数取りの基板を割る。
・基板をネジ留めする。
など、アセンブリ工程で基板に負荷が加わらないように注意してください。
コネクタが破損する可能性があります。
- ◆基板のたわみ
基板幅100mmにおいて、基板のたわみが1mm以下の条件でご使用ください（下図）。
基板がたわむことによって、コネクタに負荷が加わり、破損する可能性があります。



【FPC挿入・嵌合時のご注意】

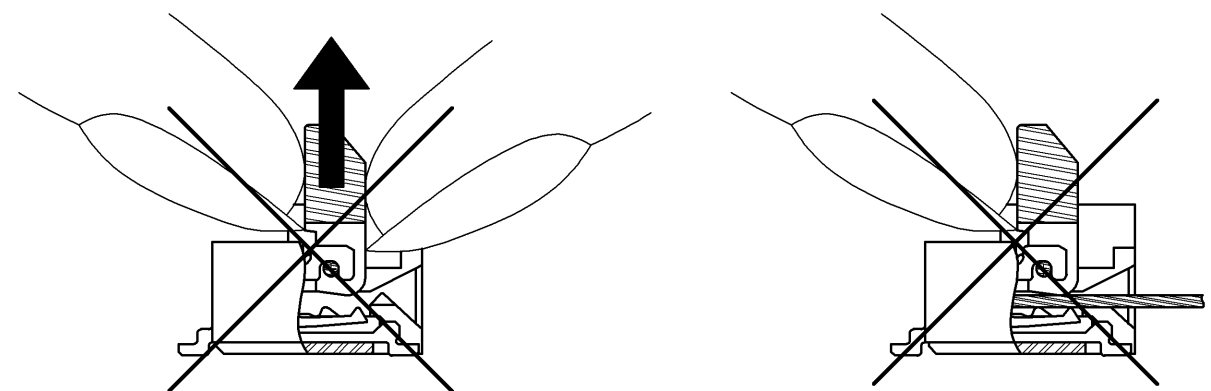
- ◆アクチュエータの操作について
アクチュエータを操作する際は、下図のように爪や指などを奥に入れたり、端子に引っ掛けたりすると破損や変形する可能性があります。



アクチュエータ操作する時は回転軸を中心に、回転動作させるように操作してください。
アクチュエータは96°以上開かない構造となっていますのでそれ以上、後方に力を加えないでください。
アクチュエータが外れたり、破損することがあります。



アクチュエータを摘んで上に持ち上げたり、引っ掛けたりしないでください。破損の原因になることがあります。
（前述の回転動作以外の操作を行わないでください。）



<取り扱いのご注意(1)>

HRS

図番: ADC3-325498-00
製品名: FH49-96S-0.4SHW
製品コード: CL580-3200-5-00

4/6

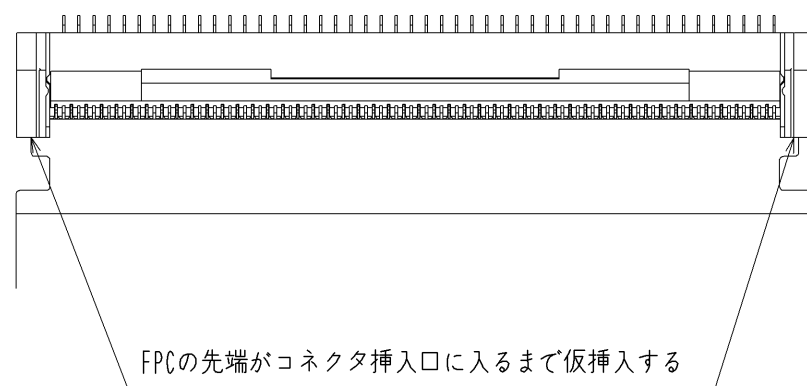
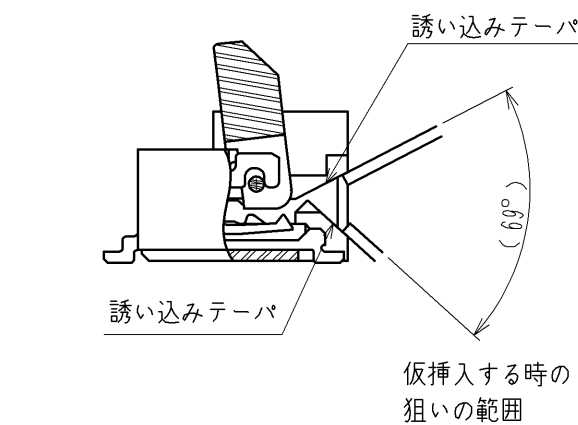
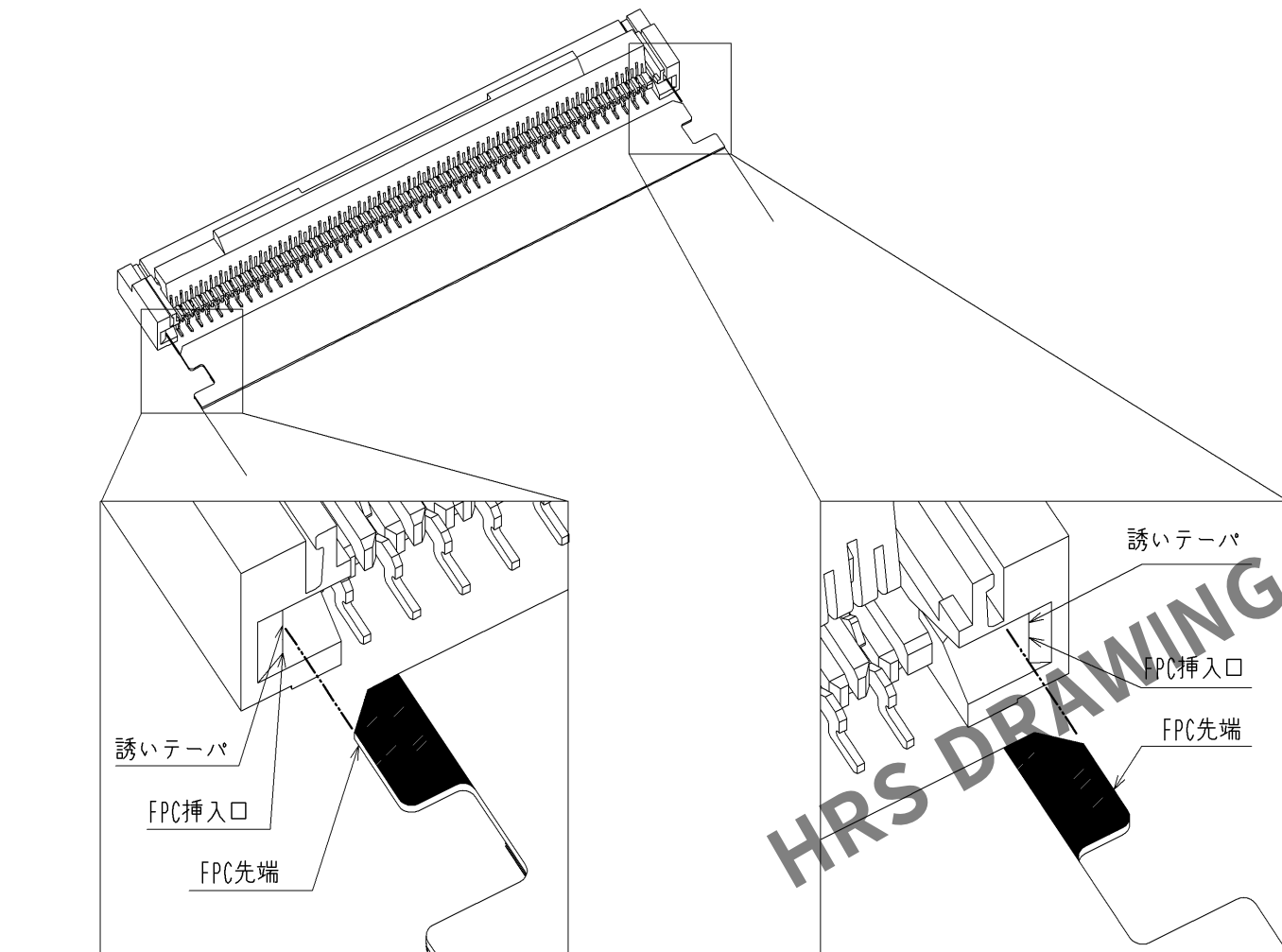
◆接点方向について
本コネクタは下接点コネクタのため、FPCの導体露出面は下にして挿入してください。

◆FPCの挿入について

①仮挿入する

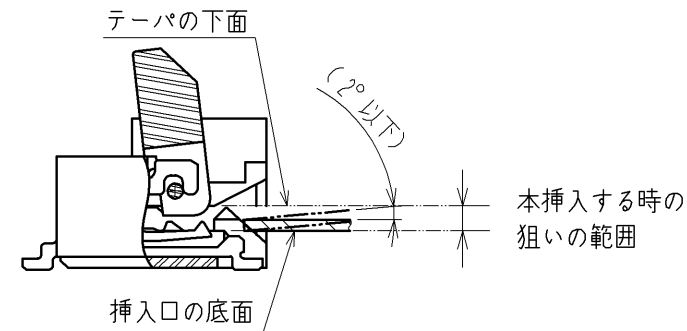
下図のようにアクチュエータを完全に開いた状態で、FPCの左右の先端を、コネクタのFPC誘いテーパに沿ってコネクタFPC挿入口に入るまで挿入してください。

※また、作業や、引き回しの関係上どうしても斜め挿入されやすい場合は、FPCのガイドをつけることで、FPCが斜めに挿入しにくくなります。（詳細形状については、2頁推奨FPC寸法図を参照ください）

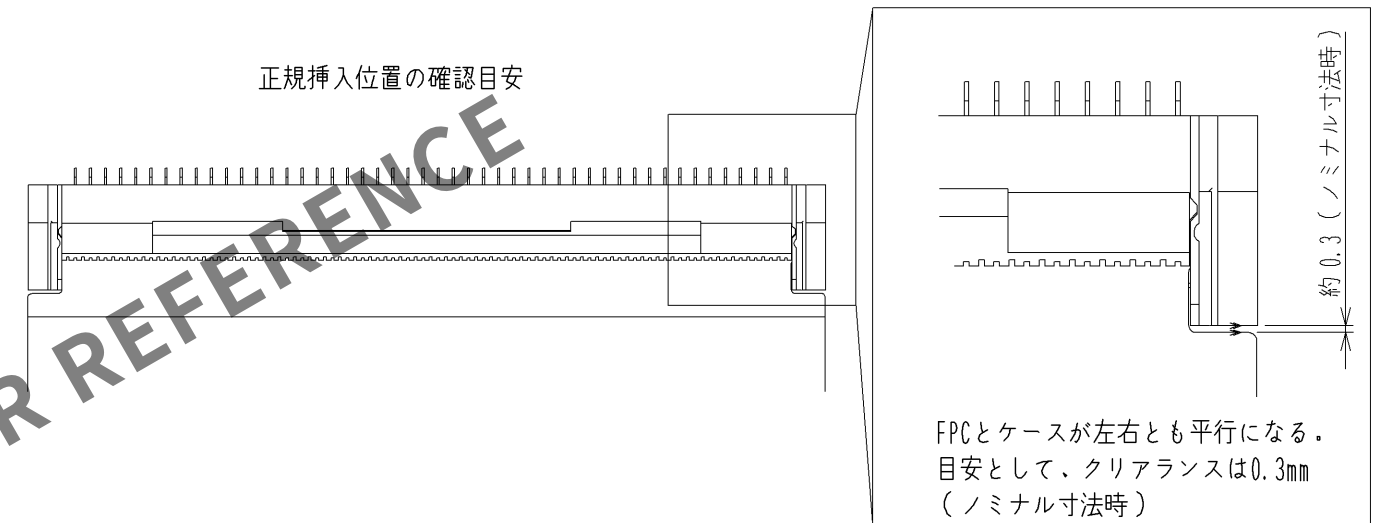


②本挿入する

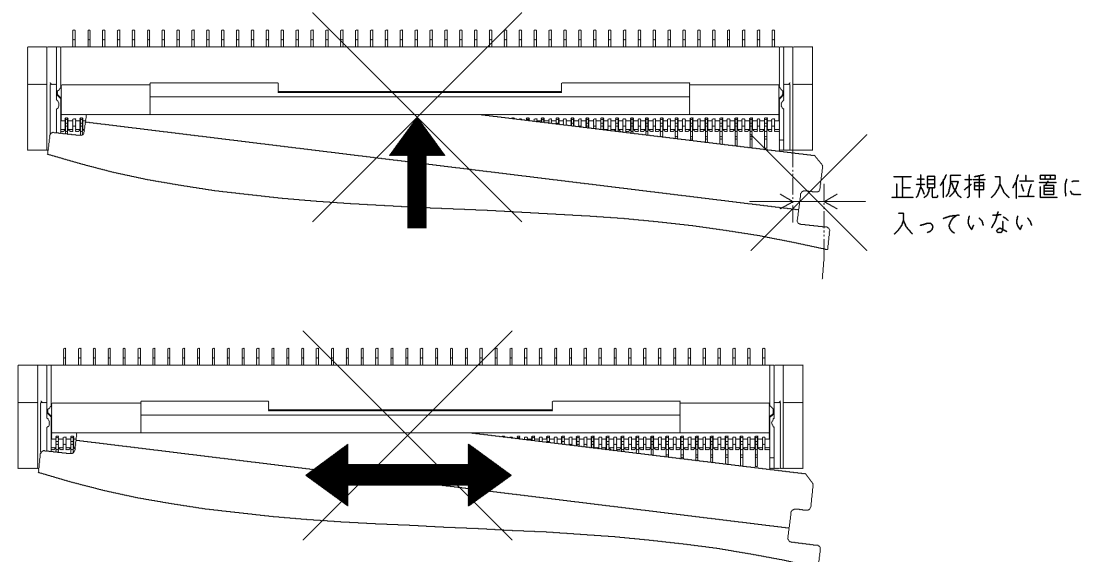
FPCの左右の先端がコネクタFPC挿入口に入ったらテーパの下面と挿入口の底面の間を狙って、水平かつ、コネクタFPC挿入口に対して垂直に、奥まで確実に挿入してください。その際、FPCをたわまさないように注意してください。



正規挿入位置の確認目安



上記の作業が出来なかった場合は、FPCを左右に動かす事は絶対に避けてください。一度FPCを引き抜いて、FPC、コネクタに傷がないことを確認の上、最初から作業してください。

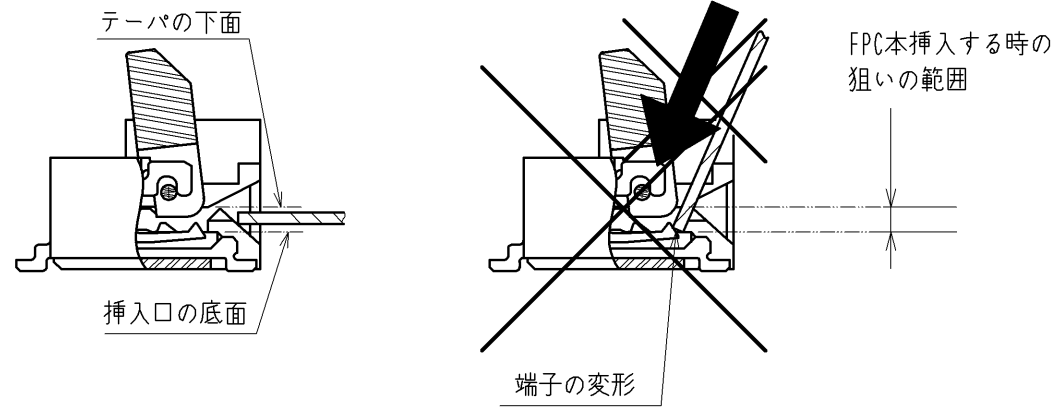


<取り扱いのご注意(2)>

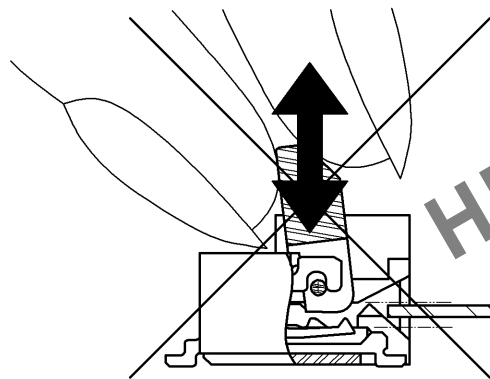
HRS	図番:	ADC3-325498-00
	製品名:	FH49-96S-0.4SHW
	製品コード:	CL580-3200-5-00

FPC本挿入時は、テーパの下面と挿入口の底面から外れた角度で挿入しないでください。
FPCの角が端子に引っ掛り端子を変形、FPCが削れる原因となります。
また、FPCが屈折しパターンが断線したり、十分に挿入されず、導通不良の原因になることがあります。

- △ ※FPCが斜め挿入にならないように、部品レイアウト時にFPC挿入スペースを確保できるよう配慮をお願いします。
また、FPCが短すぎても挿入が難しくなりますので、適切な部品レイアウトをお願い致します。
※FPCの屈曲性、断線については、FPCメーカー様と擦り合わせをお願い致します。

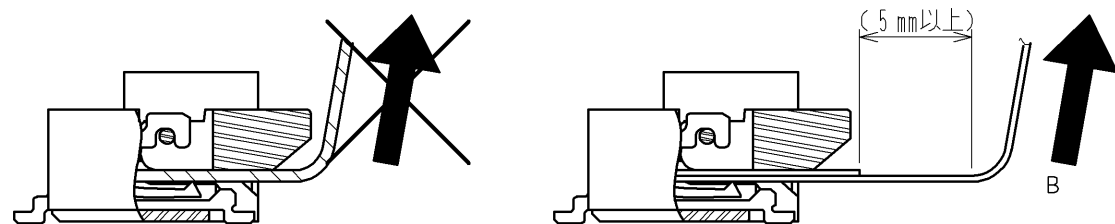


FPC本挿入時にアクチュエータに力をかけないようにしてください。
FPC挿入がたかくなったり、ワイピングしにくくなったりする恐れがあります。



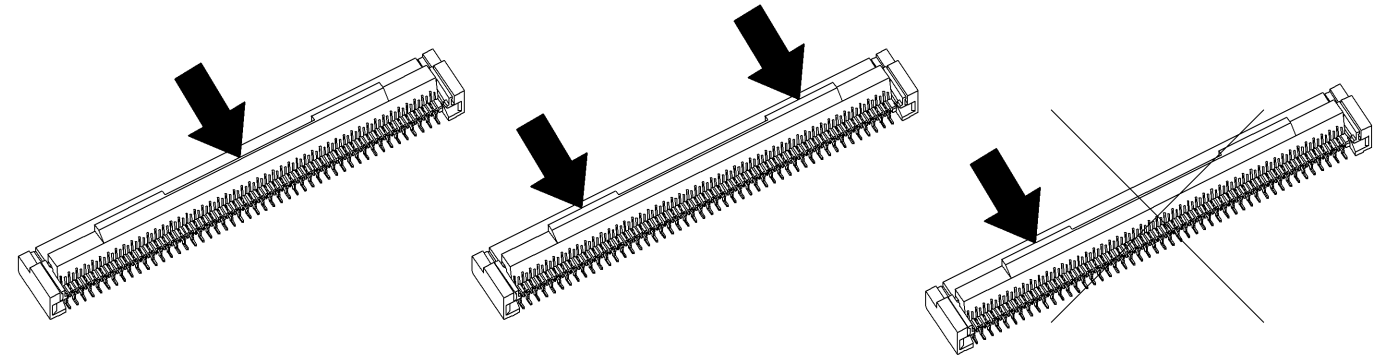
【FPC嵌合後のFPC引き回しのご注意】

- ◆FPCへの負荷について
コネクタに直接負荷がかからないようにFPCを引き回してください。
コネクタ付近でFPCが屈曲した状態でご使用になると、接触不良やFPCの断線・破損の原因になります。
特に、FPC挿入口付近から垂直上方向に急激に屈曲しないよう注意してください。
目安としては補強フィルムから5mm以上距離をとってください。
コネクタに連続的に負荷が加わる場合は、FPCを固定するようにしてください。

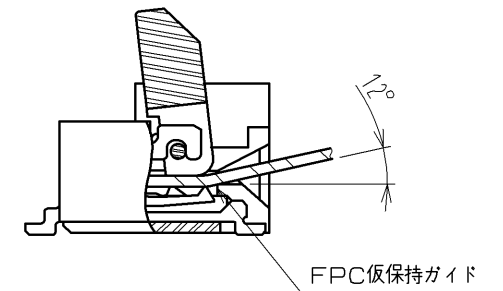


【FPC抜去時のご注意】

- ◆アクチュエータを操作する際には、中央部付近もしくは、両側で行ってください。片端側だけ操作すると、アクチュエータの破損や半嵌合になる可能性があります。



- ◆FPCを引き抜く場合は、アクチュエータを解除した状態で抜いて下さい。
FPC仮保持用ガイドがありますので、FPCは基板に対して約12°傾けた状態で引き抜いてください。



【その他のご注意】

- ◆手はんだの注意点
リペアーなど手はんだを行う際は、下記にご注意ください。
①コネクタにFPCを挿入した状態で、リフロー、手はんだを行わないでください。
②過度の熱を加えたり、はんだこてがコネクタのリード以外に触れないようにご注意ください。
コネクタが変形したり、溶ける原因になります。
③過度のはんだ（フラックス）は供給しないでください。
端子にはんだ（フラックス）を供給し過ぎると、はんだやフラックスが接点やアクチュエータの回転軸に付着し、接触不良やアクチュエータの回転動作不良の原因になります。

<取り扱いのご注意(3)>

HRS

図番: ADC3-325498-00
製品名: FH49-96S-0.4SHW
製品コード: CL580-3200-5-00

△ 6/6